

I 「保育の計画性」についての検証結果及び改善策

新教育要領について職員の一部が研修会に参加し、園の教育課程の作成、内容の充実も進んだことが大きな成果だと感じるが、職員全員で確認する時間が持てていないので、今後意志統一を図っていきたい。自分の保育を評価してもらえない。まめに公開保育や交流を行いたい。

II 「保育の在り方、幼児への対応」についての検証結果及び改善策

全体的に点数が高いが、安全管理に対する意識は、実際はまだ足りないのではないかと。例えば、人工芝を整える、ベランダの柵の側に踏み台になるものを置かない等。

III 「教師としての資質や能力・良識・適性」についての検証結果及び改善策

会議等において、もっと盛んに自分の意見を発信した方がよいと思うが、よい意見を言わないといけなと思うと消極的になってしまう。

子どもに対して、自分の思いや考えを発信するよう援助するためにも、まずは教師が積極的になるように、会議では一人一回は発言するようにする。

降園後の手順や能率を考え仕事を進め、少しでも早く退勤できるようにする。特に単純作業の能率について、ベテランが1、2年目の教師を指導する。

IV 「保護者への対応」についての検証結果及び改善策

保護者には園生活の様子がほとんどわからないので、クラスだよりやメモで伝えるよう心がける。

V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての検証結果及び改善策

昨年と同様、この点数が一番低かった。自分たちの園の子どもたちが小学校でどのように後伸びしているかいないかを確認するため、幼小連絡会の様子を職員会で報告し、共有する必要がある。

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

クラス経営が独りよがりになっている傾向があるのではないかと？

互いの保育についてももう少し、意見交換を行うよう心がける。月一度の学年研修で、教材研究をより丁寧に行う。

「外部アンケート」からの検証結果及び改善策